

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号 29-7	学 校 高等学校	教 科 数学科	種 目 数学Ⅲ	学 年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅲ 326	数学Ⅲ		

1. 編修の基本方針

- ①当該科目に関する知識と技能を確実に身につけ、それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすために、記述や題材に配慮した。
- ②1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ③生活に関連のある題材や、数学を発展させた先人たちの業績について扱うことで、数学に対する興味・関心を高め、社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し 1章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 ・数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした（第5号）。 	<p>p. 19, p. 33～34</p> <p>p. 17の1～9行, p. 19, p. 24の20～24行</p> <p>前見返し</p>
2章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 	<p>p. 57, p. 72～74</p> <p>p. 57の2～4行, p. 59の20～21行</p>
3章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 	<p>p. 91, p. 105, p. 114</p> <p>p. 91, p. 104の11～18行, p. 111の18～21行</p>

4 章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や，学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで，幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・身近な題材を扱うことで，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。 	<p>p. 161～162, p. 181～182</p> <p>p. 185, p. 189, p. 195 の 13～15 行</p>
5 章	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充する内容や，学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで，幅広い知識と教養を身に付けられるようにした（第1号）。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し，他者との協力を重んずる態度を養うようにした（第3号）。 	<p>p. 212, p. 229～230, p. 249～250, p. 254～256</p> <p>p. 203 の 17 行</p>
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を補充するページや，学習内容の理解を深めるための発展的なページでは，前小口に着色して，通常のページと明確に区別できるようにした。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号 29-7	学 校 高等学校	教 科 数学科	種 目 数学Ⅲ	学 年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅲ 326	数学Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 数学のよさが認識できる教科書
- ・ 数学的な見方や考え方のよさが感得できるよう、例題を豊富にした。重要な例題については、背景にある着想や根拠などを示した。また、節末問題、章末問題では、応用力を高めるための問題も扱うようにした。
 - ・ 生活に関連のある題材を扱い、数学に対する興味・関心を高められるようにした。
 - ・ 1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、数学の考え方の多様性に触れられるようにした。
 - ・ 数学の歴史に関する内容を見返して扱い、数学を発展させた先人たちの業績やその背景に触れられるようにした。
- (2) 指導者にとっては指導しやすく、学習者にとっては理解しやすい教科書
- ・ 簡潔で正確な記述を心がけた。必要に応じて、本文や解答を補足するための注釈を置いた。
 - ・ 定義、用語・記号、公式、定理は、過不足なく扱うようにした。
 - ・ 学習内容を定着させ、理解を深めるための例題や問題を、過不足なく扱うようにした。例題の解答は模範的なものとし、表現力を身につけられるように配慮した。
 - ・ 本文内容を補充する学習事項を豊富に扱い、興味・関心に応じて選択できるようにした。
 - ・ 学習内容の理解を深めるために、数学Ⅲの学習指導要領に示されていない内容も扱うようにした。
 - ・ 既習事項を引き継ぐ内容については、接続がスムーズになるように配慮した。
- (3) ビジュアル面を工夫した、読みやすい教科書
- ・ ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさの向上に努めた。
 - ・ レイアウトを工夫して、紙面をすっきりさせた。
 - ・ 公式などの重要事項は、太字にしたり、枠で囲んだり、表にまとめたりして、強調するようにした。
 - ・ 本文をカラーにしたり、図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして、視覚的な効果にも配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 複素数平面上の図形	(1) 平面上の曲線と複素数平面 イ 複素数平面 (ア) イ 複素数平面 (イ)	p. 4 - 37	19
2章 式と曲線 1節 2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標	(1) 平面上の曲線と複素数平面 ア 平面上の曲線 (ア) ア 平面上の曲線 (イ) ア 平面上の曲線 (ウ)	p. 38 - 77	23

3章 関数と極限 1節 関数 2節 数列の極限 3節 関数の極限	(2) 極限 ア 数列とその極限 (ア) ア 数列とその極限 (イ) イ 関数とその極限 (ア) イ 関数とその極限 (イ) イ 関数とその極限 (ウ)	p. 78 - 137	33
4章 微分法 1節 導関数 2節 いろいろな関数の導関数 3節 関数値の変化 4節 導関数の応用	(3) 微分法 ア 導関数 (ア) ア 導関数 (イ) ア 導関数 (ウ) イ 導関数の応用	p. 138 - 197	39
5章 積分法 1節 不定積分 2節 定積分 3節 積分法の応用	(4) 積分法 ア 不定積分と定積分 (ア) ア 不定積分と定積分 (イ) ア 不定積分と定積分 (ウ) イ 積分の応用	p. 198 - 256	36
			計 150

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-7	高等学校	数学科	数学Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅲ 326	数学Ⅲ		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
74	曲線の回転移動	2	(1) 平面上の曲線と複素数平面 「放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。」 「複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解し，それらを事象の考察に活用すること。」	1
182	ロピタルの定理	2	(3) 微分法 「導関数を用いて，いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり，いろいろな関数の値の増減，極大・極小，グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすること。また，それらを事象の考察に活用すること。」	1
254～256	微分方程式	2	(4) 積分法 「いろいろな関数について，工夫して不定積分や定積分を求めること。」	3
合 計				5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容